盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き　世界につながるまち盛岡～

令和６年５月30日
玉山総合事務所
産業振興課

市政記者クラブ加盟社　各位

東京都文京区で「啄木学級 文の京講座」を開催します

石川啄木“終焉の地”である東京都文京区を会場に「啄木学級 文の京講座」を開催します。

このイベントは、ゲスト講師による講演などを通じて啄木への理解を深めるとともに、啄木“生誕の地”盛岡市と“終焉の地”文京区との相互交流の発展を図ることを目的として開催するものです。

記

【日　時】　令和６年７月５日（金）　14時から（13時開場）

【場　所】　文京シビックホール　小ホール（東京都文京区春日1-16-21）

【主　催】　盛岡市、文京区、(公財)盛岡観光コンベンション協会

【共　催】　(公財)盛岡市文化振興事業団 石川啄木記念館

【内　容】　(1) 講演

演題　「啄木の精神構造　～精神科医が解く啄木の人間性～」

講師　西脇　巽　氏（生協さくら病院名誉院長・国際啄木学会評議員）

(2) 対談

テーマ　「啄木の精神分析」

西脇　巽　氏

森　義真　氏（近代文学研究家・石川啄木記念館前館長）

＜注意事項＞

① 撮影及び録音は、内部関係者のための報告、記録用に限らせていただきます。
（ネットでの流出等にご注意下さい。）

② 講演中の講師の写真を雑誌等に掲載する場合は、あらかじめチェックさせて下さい。
写真の撮影は講演の冒頭5分程度に限らせていただきます。

③ 講演前後の取材に関しては、可能な範囲でご協力させていただきます。
事前に（公財）盛岡観光コンベンション協会（019-621-8800）までご相談ください。

【参加予定】申込定員 300人

～参考～

○初回開催

平成11年８月29日（以後、毎年度開催）

○盛岡市・文京区友好都市提携

平成31年２月20日に締結（啄木生誕の日）。

【問い合わせ先】

□(公財)盛岡観光コンベンション協会
担当：鐙　浩史、成瀬　優美
TEL　：019-621-8800

□盛岡市玉山総合事務所産業振興課
担当：植田　明寛、内澤　良輔
TEL　：019-683-3852

啄木学級

文の京講座（ふみのみやこ）

応募締切：
6月7日(金)
消印有効
（応募方法は裏面参照）

第一部 **講演**
「啄木の精神構造
～精神科医が解く啄木の人間性～」
生協さくら病院名誉院長
国際啄木学会評議員
西脇巽（にしわきたつみ）氏

第二部 **対談**
「啄木の精神分析」
西脇巽氏
×
森義真（もりよしまさ）氏
（近代文学研究家・石川啄木記念館前館長）

日　時　令和6年 **7月5日** 金
午後2時 開演（午後1時開場）

会　場　文京シビックホール 小ホール
東京都文京区春日1-16-21
文京シビックセンター2階

講師 西脇　巽氏

生協さくら病院名誉院長
国際啄木学会評議員

1942年6月1日、福井市生まれ。父の転勤に伴い、神戸・大阪などを経て小学校4年生から高校卒業まで啄木ゆかりの函館で過ごす。
1968年、弘前大学医学部卒業、精神医学専攻。八甲病院副院長、1975年以降より院長、2003年より名誉院長。2006年より生協さくら病院（旧八甲病院）名誉院長。国際啄木学会評議員。
主な著書に『石川啄木 悲哀の源泉』（2002年、同時代社）、『石川啄木 矛盾の心世界』（2003年、同時代社）、『石川啄木 東海歌の謎』（2004年、同時代社）、『石川啄木 骨肉の怨』（2004年、同時代社）、『啄木と郁雨：友情は不滅』（2005年、青森文学会）、『石川啄木の友人：京助、雨情、郁雨』（2006年、同時代社）、『石川啄木東海歌二重歌格論』（2007年、同時代社）、『石川啄木 若者へのメッセージ』（2015年、桜出版）、『石川啄木 不愉快な事件の真実』（2015年、桜出版）、『石川啄木 旅日記』（2015年、桜出版）他精神医学啓蒙書多数。

主催／盛岡市・文京区・公益財団法人盛岡観光コンベンション協会
共催／公益財団法人盛岡市文化振興事業団 石川啄木記念館

お問い合わせ：公益財団法人盛岡観光コンベンション協会　TEL 019-621-8800

石川啄木　本名　石川　一（はじめ）

1886年（明治19年）2月20日、南岩手郡日戸村（現・岩手県盛岡市）の常光寺で生まれ、翌年、住職である父親の転任により、家族で渋民村（現・盛岡市渋民）の宝徳寺に移り住む。1902年、盛岡中学校を中退して上京し、小日向台町（現・文京区音羽）に下宿。与謝野鉄幹・晶子夫妻から文学の指導を受ける。病を得て故郷へ戻り、1904年、詩集刊行を目的に上京。向ケ丘弥生町（現・文京区弥生）に居留し、翌年、初の詩集『あこがれ』を刊行。同年、盛岡市に戻り、新婚生活を営みながら、文芸雑誌『小天地』を発行。1906年、渋民尋常高等小学校の代用教員となるが、教師生活を1年間で終え、翌年5月、北海道へ渡る。各地を漂泊ののち、新たな文学活動の展開を願い、1908年4月に上京し、同郷の先輩・金田一京助を頼りに、菊坂町の赤心館、その後、森川町の蓋平館別荘（ともに現・文京区本郷）に下宿。翌年6月、家族を迎えて弓町（現・文京区本郷）の喜之床（現・新井理髪店の地）に移る。一生に二度とは帰って来ないいのちの一秒を惜しみ、また、故郷への想いを短歌に表して、1910年12月、第1歌集『一握の砂』が出版された。自由な作風と三行書きの特徴をもつ短歌は、当時の文壇の人々を驚かせた。1912年（明治45年）4月13日、肺結核のため、久堅町（現・文京区小石川）にて26歳2か月の生涯を閉じた。2か月後、第2歌集『悲しき玩具』が刊行された。

啄木学級 文の京 講座　応募方法

⚠ 応募者1名につき往復はがき1枚が必要です

往復ハガキ（1枚につき1名まで）に必要事項（記入例参照）をご記入の上ご応募ください（文京区在勤・在学の方はその旨を記載）。
※電話・FAX・E-mail等での応募はできません。
※結果発表は返信ハガキの発送をもって代えさせていただきます。
※応募が定員を超える場合は抽選となります。

往復はがき1枚での複数名の応募、記載内容の不備、料金の不足等があった場合は無効となりますのでご注意ください。

応募先　〒020-0871　盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
（公財）盛岡観光コンベンション協会「啄木学級」係

往復はがき記入例

返信用宛名にご自身の住所・氏名の記入をお忘れなく!!

郵便往復はがき
63 日本郵便 NIPPON
⑤郵便番号
返信
⑦ 氏名
⑥ 住所
《折れ線》
①「啄木学級」応募
②郵便番号・住所
③氏名（ふりがな）
④電話番号

郵便往復はがき
63 日本郵便 NIPPON
020 0871
往信
盛岡市中ノ橋通一丁目1-10
（公財）盛岡観光コンベンション協会
「啄木学級」係
《折れ線》
※ここには何も書かないでください。

締切日 6/7（金）消印有効
受講料 無料
定員 300名（うち文京区在住・在勤・在学者180名）

会場までのアクセス

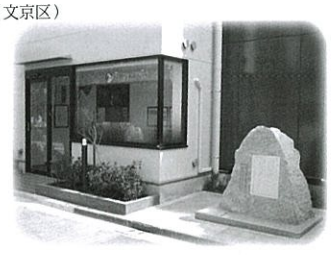
●東京メトロ「後楽園」駅　丸ノ内線（4a・5番出口）・南北線（5番出口）徒歩1分
●都営地下鉄「春日」駅　三田線・大江戸線（文京シビックセンター連絡口）徒歩1分
●JR総武線「水道橋」駅（東口）徒歩9分

友好都市 - 啄木がつなぐ文京区と盛岡市の絆 -

平成31年2月20日、石川啄木生誕の地である盛岡市と終焉の地である文京区は、啄木生誕の日でもある2月20日にちなみ、教育文化、スポーツ、産業等の交流を促進することにより、両都市の住民相互の理解と友情を深め、永続的な友好が図られることを願い、友好都市として提携しました。これまでに「啄木学級文の京講座」をはじめ、「文京博覧会」や「盛岡さんさ踊り」等を通じた交流を続けています。

啄木終焉の地歌碑と顕彰室（文京区）

石川啄木が生涯を閉じた文京区小石川5丁目には、啄木終焉の地を記念する歌碑と顕彰室があります。歌碑には、啄木最後の歌とされる第二詩集「悲しき玩具」冒頭の二首が刻まれているほか、顕彰室には石川啄木記念館（盛岡市）提供の写真や年表、直筆原稿や書簡のレプリカなどが展示されています。



開室時間　9：00～17：00（年末年始、特別閉室時を除く）
所在地　東京都文京区小石川5-11-8
交　通　東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車　徒歩7分
https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/spot/ato/kensyousitu.html

石川啄木記念館

貴重な直筆書簡など、300点以上の啄木ゆかりの資料を展示。人間・石川啄木の生涯を肌で感じることができます。

改修工事に伴い休館中
令和7年1月リニューアルオープン（予定）

〒028-4132　岩手県盛岡市渋民字渋民9
TEL 019-683-2315　FAX 019-683-3119
https://www.mfca.jp/takuboku/

もりおか啄木・賢治青春館

1910年（明治43年）に竣工した旧第九十銀行を保存活用して、啄木と宮沢賢治が青春を育んだ盛岡の街と2人の青春時代を紹介しています。

〒020-0871　岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-25
TEL・FAX 019-604-8900
https://seishunkan.jp

啄木新婚の家

石川啄木が堀合節子との新婚生活を始めた家。随筆「我が四畳半」に新婚当時の様子が書かれています。

〒020-0021　岩手県盛岡市中央通三丁目17-18
TEL　019-624-2193

※各施設の最新の情報はホームページ等でご確認ください。